

**第35回「日本語で語る会」(オンライン)**  
**宮崎臨時代理大使 ご挨拶**

こんにちは。在フィンランド日本国大使館 臨時代理大使の宮崎和政です。本日は、第35回「日本語で語る会」に参加させていただき、大変光栄に思います。

まず、主催者の鈴木会長をはじめ日本語日本文化教師会(JOY)並びにプラネン語学センター長をはじめ LAB 応用科学大学、LUT 大学関係者の皆様に心から御礼申し上げます。この「日本語で語る会」は、発表者のみならず発表を聞いている学習者のモチベーション、そして、フィンランド国内の日本語学習者同士の交流のきっかけにもなっています。

また、指導にあたられた日本語教師の皆様にもお礼を申し上げます。日本語普及の最前線に立ち、日々指導方法を工夫していただいています。それから、本日の「日本語で語る会」の発表者、そして、視聴者である、発表者のご家族、ご友人、あるいは日本語学習者の皆さん、我々は日本語の絆で結ばれた日本語のファミリーです。これからも日本語に親しんでください。

さて、今年は日フィン友好年です。日本とフィンランドの外交関係は1919年に始まりました。今年は103年目で大変長いですが、もっと古い、今から230年前に既に日本とフィンランドの人々の間には交流がありました。サヴォンリンナ出身のエリク・ラクスマンとその息子のアダム・ラクスマンが、日本から漂流した大黒屋光太夫たちを日本に帰すお手伝いをしてくれたのです。光太夫たちの帰国は 1792 年で、フィンランドという国が出来る前の友情の物語です。フィンランド人と日本人の気質が合うためでしょうか、この出来事の後も、友情の輪は続き、皆さんもそのうちの一人です。

現在、在フィンランド日本国大使館では日フィン友好年事業のひとつとして「フィンランド人と日本人の友情」をテーマとする写真コンテストを開催しており、皆様から、フィンランド人と日本人の友情・交流を表現する写真を募集していますので、是非ご応募ください。優秀作品は、新しく出来たピックフィンランディアをはじめ、フィンランド国内を巡回展示します。

また、大使館では毎年国費留学生を募集しています。枠は限られていますが、日本語学習者、一般の学部生・大学院生、そして教師の方も応募いただけます。詳細は大使館のホームページをご覧ください。

本日はフィンランド各地から様々な興味深いテーマについてのお話が伺えるということで、とても楽しみにしています。リラックスして日頃の学習の成果を発揮してください。Onnea puheisiin! Kiitos.

(了)